

小型航空機搭載用SAR

小型航空機搭載用SARの特徴

| | |
|----------------|--|
| 周波数帯 | Xバンド |
| 偏波 | フルポラリメトリ対応 |
| 最高分解能 | 30cm |
| 観測幅 | 最大 : 10km ノミナル: 5km (小型機) / 2.5km (ヘリ) |
| リアルタイム処理 | 有り |
| オプション機能 | 標高地図作成機能 (干渉SAR) 移動体検出機能 (海上・地上) データ伝送 (ヘリテレ対応可能) 他センサ連携 (赤外線センサ、ハイパースペクトラム) |
| その他の提案可能なオプション | 地上SAR画像処理装置 高次処理装置 運用およびSAR画像再生処理 /高次処理サービス データセンターの提供 |
| プラットフォーム | ビジネスジェット、小型航空機、 ヘリコプター、無人機 |

世界最高レベルのフラグシップ機
(ビジネスジェット)



Pi-SAR2(NICT殿に納入・運用中)

総務省
委託研究

小型航空機モデル



提供: ダイヤモンドエアサービス株式会社

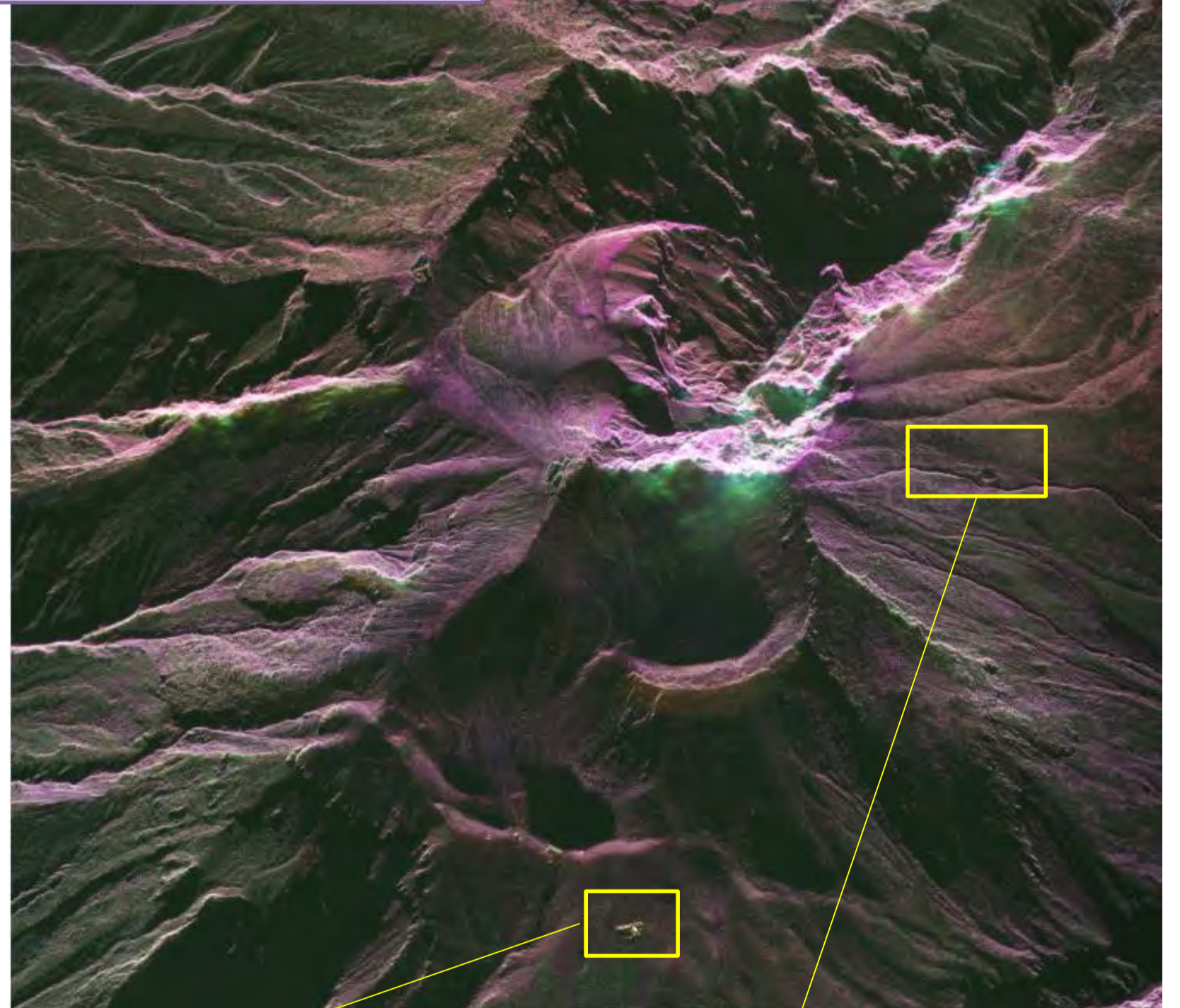
ヘリコプターモデル



提供: セントラルヘリコプターサービス株式会社

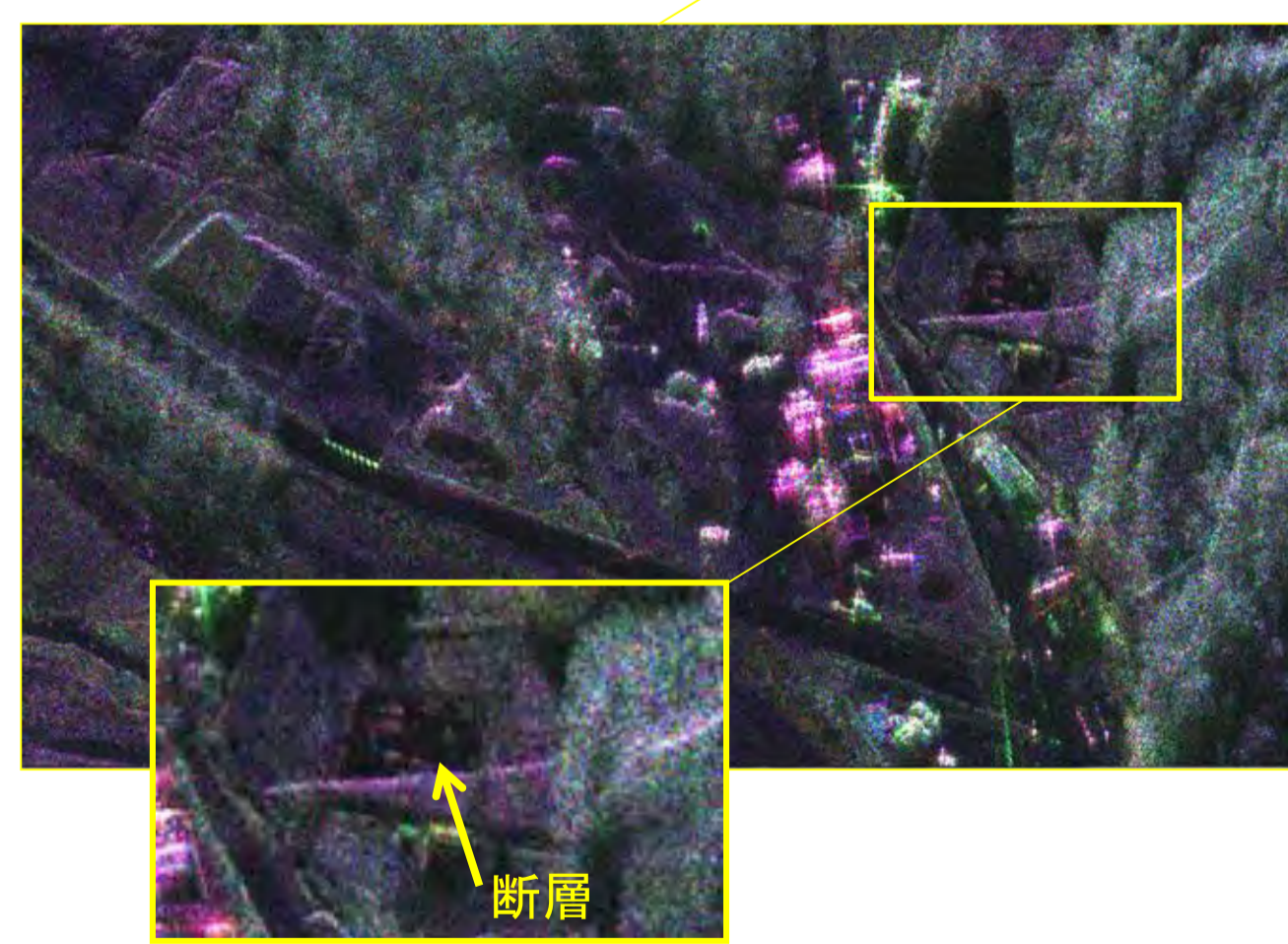
高画質・高分解能のまま、様々な機体に搭載可能な小型SARを実現しました。

御嶽山撮像画像
2014年10月23日撮像

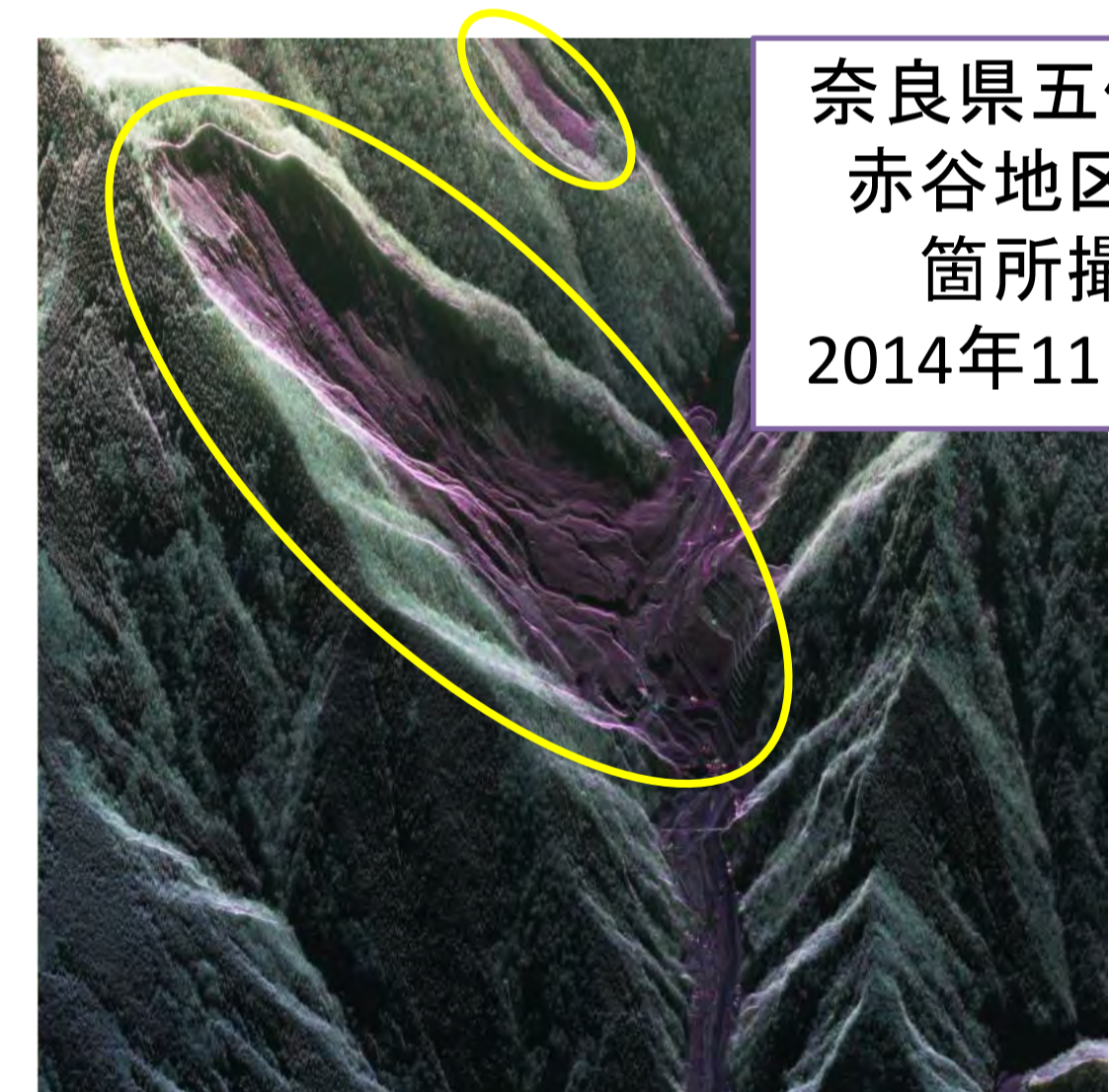


火山噴火災害

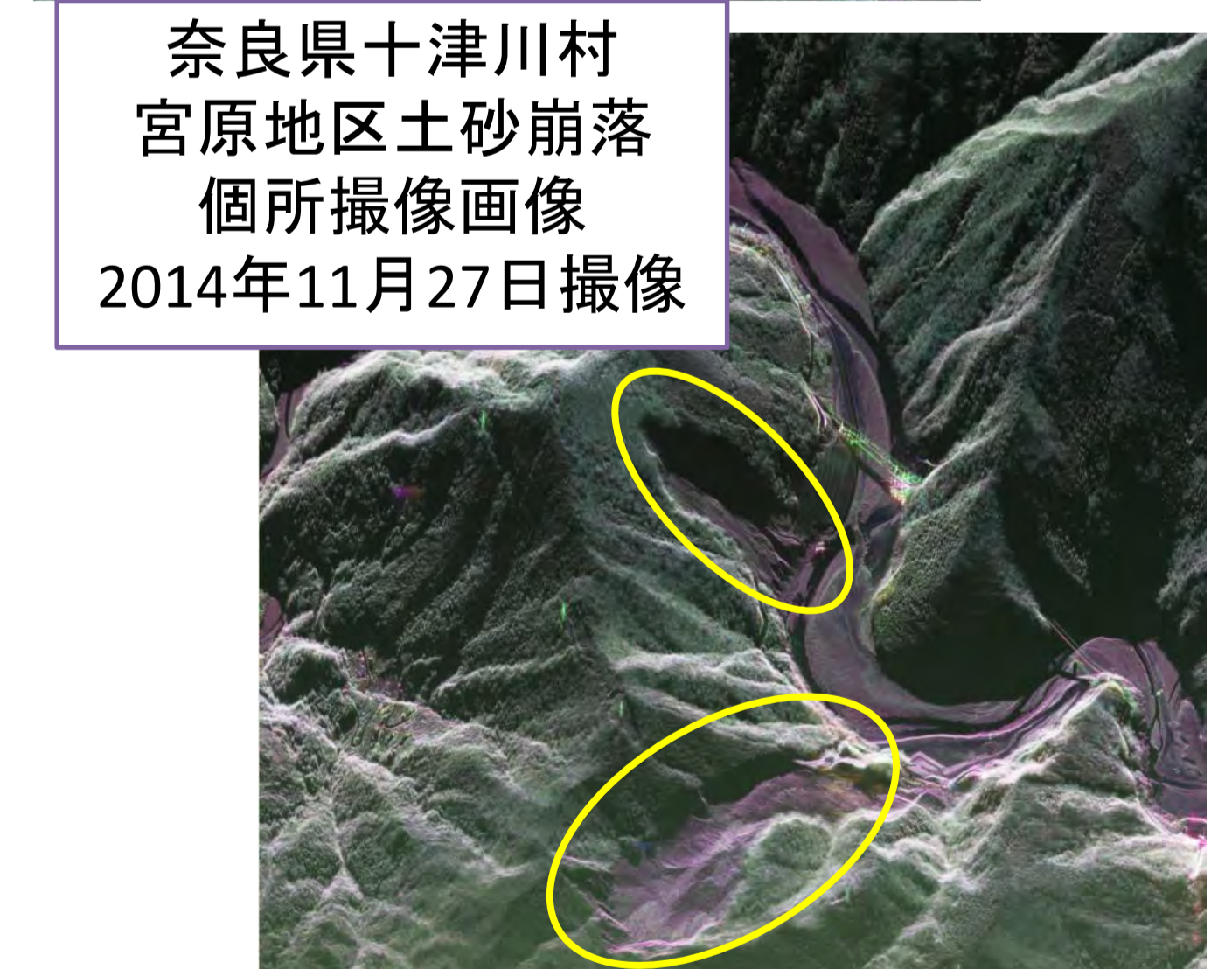
長野県白馬村撮像画像
2014年11月27日撮像



地震災害



奈良県五條市大塔町
赤谷地区土砂崩落
箇所撮像画像
2014年11月27日撮像



奈良県十津川村
宮原地区土砂崩落
箇所撮像画像
2014年11月27日撮像

土砂崩落災害

各種災害の全天候・広域監視・状況把握を可能としました。

(※) 総務省の「小型航空機搭載用高分解能合成開口レーダーの研究開発」
(平成24年度～平成26年度一般会計予算) による委託研究の成果を活用しています。